

車載用イメージセンサ・カメラの業界・技術動向と用途展開

講師：中條博則 氏 共創企画 代表（元・東芝）

ADASの普及率が高まり、自動運転車の市場投入が始まる中、それら機能を実現する上で欠かせないのがカメラである。従来車載カメラは、その市場独自の進化をとげてきたが、市場急拡大にともない、既存巨大市場スマホ用カメラ技術の転用が活性化している。ここで、携帯電話からスマホ用に至る搭載カメラの経緯を見ると、5つの世代に分類できる。この中、3番目の世代が他の製品に与えた影響が甚大である。スマホがCompact DSCに対し破壊的な影響を与えたことは衆目の一致するところであるが、そのきっかけとなったのがこの世代の登場である。さらにこの世代で開発されたImage Sensorの高感度技術「BSI」は、車載用にも適した技術であったため早々に転用された。続く第4世代では、Computational photography技術による高画質・高機能の実現により、一眼レフの存亡にも多大な影響を与え始めるとともに、Image Sensorの高感度技術「Binning」がわずか2年後に車載用に転用された。

本講演では、スマホ用カメラの5つの世代とは何か、そこで開発された技術が車載用にどのように展開されているのか、そしてその流れが今後IoT社会にどのように波及していくのかを解説する。

【講師経歴】1976年3月 信州大学工学部電子工学科卒業、1976年4月(株)東芝入社以降、オーディオ機器電子回路設計、ビデオ商品企画、マルチメディア、Player販売促進、光ディスク機器開発責任者を経て2002年4月より2014年1月までセミコンダクター社カメラモジュール企画・開発に従事、2014年2月 共創企画開業 現在に至る。**【活動】**2007年より携帯電話用カメラの技術書籍執筆開始(電子ジャーナル叢書)各年最新刊出版【最新作】「2017 車載カメラ徹底解説【改定版】」2017.05 ホンニナル出版刊「WLO 技術・応用・市場徹底解説」2017.09 ホンニナル出版刊「2018 カメラモジュール徹底解説」2017.10 ホンニナル出版刊

開催日時	2019年11月28日(木) 10:00~16:00	【会場】	ちよだプラットフォームスクウェア 5F 503
受講料	46,000円 + 税 ※昼食代、資料代含 * メルマガ登録者 41,000円 + 税 * アカデミック価格 24,000円 + 税		〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21

*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、2名目は無料、3名目以降はメルマガ価格の半額です

【セミナー対象者】光学部品メーカー、樹脂メーカー、イメージセンサメーカー、車載カメラメーカー、車載用部品メーカー、自動車産業の開発担当、商品企画担当、営業担当 【得られる知識】自動運転の進捗状況、AIの動向、カメラが果たす安全機能の内容、車載イメージセンサ・カメラに要求される仕様と機能、車載用カメラレンズに要求される仕様と機能、車載用ディスプレイに要求される仕様と機能など

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 欧米・中国で加速するEVの普及、自動運転技術の本格化	場動向予測 4-3 車載カメラの小型化、開発期間短縮に貢献するWLO技術の概要
1-1 IoTとは、Communication, Logistics, Energy 3つのInternet上に存在するもの	4-4 WLOリフローカメラで実現する多機能カメラモジュールの事例
1-2 再生可能エネルギーの限界費用大幅低減EVの本格化が進む欧州、強引にEV普及促進を図る中国	4-5 Viewing Cameraの画素数を決定付けるディスプレイ解像度
1-3 350kW高速充電網充実で進む欧米のEV市場拡大	5. 車載CMOS Image Sensorに要求される機能
2. ADASから自動運転へ、Key Wordは“CASE”	5-1 明暗差が大きい環境に対応した「Real Time HDR」機能
2-1 国連宣言を受け、急激に普及拡大したADAS	5-2 LED表示・照明による誤認識解消「フリッカ抑制」機能、HDR併用Image Sensorも登場
2-2 世界的に統一された自動運転Levelの定義	5-3 De-facto化する、夜間歩行者検出も可能な0.005lx出画超高感度Image Sensor
2-3 自動運転で覇権を狙う国際道路交通法の縛りが無い中国	5-4 ADASの精度向上、自動運転実現で重要な役割を果たすNIR Sensor
2-4 自動運転実現には必須、車載AI/Deep Learning機能	5-5 SoC処理能力向上に伴い高解像度を求め多画素化が進むSensing Camera
2-5 Toyotaもついに参画、自動運転技術Open Platform『Baidu Apollo PJ』の勢力拡大	5-6 夜間障害物検出で重要な役割を果たすFIRカメラのコスト低減技術
3. 車載用に技術移植が進むスマホカメラ・ディスプレイの動向	6. IoT社会本格化に向けた動向
3-1 Connected Carの本格化を加速したスマホの登場	6-1 家庭用IoTは高度なInteraction性を実現した音声認識が本命
3-2 スマホカメラの5つの世代と車載カメラに転用された技術	6-2 AIの高度化を進める業界動向
3-3 AMOLED搭載が進むスマホ、車載用への転用の可能性	6-3 IoT社会のカメラとAIの相互作用は『現代版カンブリア爆発』である
4. 車載カメラの要素技術	まとめ
4-1 車載カメラが果たす安全機能	
4-2 車載カメラ、部品の市	

弊社記入欄		セミナー申込書			
セミナー名		車載用イメージセンサ・カメラの業界・技術動向と用途展開			
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名(団体名)	TEL:		
		住所 〒	FAX:		
			E-mail:		
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名	
お支払方法		銀行振込・その他		お支払予定	2019年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先: ㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789